

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	健康科学概論		
担当者(Instructors)	渡辺 弥生	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択必修
実務家教員科目(Pro teacher course)			

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

人間は、心と体が深く関係する社会的な存在として進化発展してきた。人々が健やかに生きるためには、一人ひとりが自らの健康を保持増進することが基本である。そのためには健康づくりに関する基本的な知識を身につけ、病気に罹らないようにするためにどのようにすべきかという健康問題に関心を持つことが大切である。「健康科学概論」は、健康科学分野の基礎となる科目である。ここでは、健康の概念、保健統計、ライフスタイルと健康づくりなどの基本を身につけることを目的とする。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	講義形式 レポート課題 質疑応答 動画の視聴など メディア授業2回程度 オンデマンド 小テストの実施
当該科目と実務との関係(Relationship between course and practice)	この科目では教員の医療専門職としての実務経験を活かし病者として生きる困難さなどの症例を挙げ、保健、疾病予防、さらにヘルスプロモーション、ヘルスプロテクトの概念について学ぶことで自らの人生を健康に生きるための学びとしていく。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	ガイダンス	全体のガイダンス「人間と健康」の講義に対する関心と希望を確認する。	<input type="checkbox"/>
第2回	人の一生と健康	人間の一生、個体の成長と発達に伴う生理機能の変化、個人と集団と社会について学ぶ	<input type="checkbox"/>
第3回	健康の概念1「健康とは何か」	WHOの健康に関する流れ、健康の概念、新しい健康の捉え方について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第4回	健康の概念2「健康意識」健康の変遷	研究者の健康観、健康度、健康不安、健康に関する意欲などについて学ぶ。時代ごとの健康の捉え方を学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第5回	保健統計	保健統計、健康水準の測定、傷病に関する統計などについて学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第6回	わが国の健康水準の動向	疫学の示す因果関係、生活習慣病の増加、ライフサイクル別に見た死亡原因について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第7回	健康阻害要因	健康を阻害する要因、(食生活、生活環境、社会環境)について習得する。	<input type="checkbox"/>
第8回	保健分野における国際協力	プライマリーヘルスケア、ヘルスプロモーション、健康づくり運動、について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第9回	我が国の健康増進対策 健康チェック	健康づくり運動の流れ、健康増進法、健康日本21などについて学ぶ。実際にバイタルサインチェックを実施する。	<input type="checkbox"/>
第10回	ライフサイクルと健康づくり運動(乳幼児)	乳幼児期の物理、化学的要因、身体・生理、心理・社会的敵要因と健康について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第11回	ライフサイクルと健康づくり運動(学童・思春期)	学童・思春期の物理、化学的要因、身体・生理、心理・社会的敵要因と健康について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第12回	ライフサイクルと健康づくり運動(青年・成人期)	青年・成人期の物理、化学的要因、身体・生理、、心理・社会的敵要因と健康について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第13回	ライフサイクルと健康づくり運動(老年期)	老年期の物理、化学的要因、身体・生理、心理・社会的敵的要因と健康について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第14回	健康診断について 課題レポート	健康診断の利用方法について学ぶ。健康の意義について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第15回	全体のまとめ	自己の健康管理、各回の授業内容の復習 まとめテスト	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

授業の理解を深めるため、シラバスに関わる内容を確認し、専門用語を調べる。2時間程度授業前学習する。新聞やテレビ、インターネットなどで話題になっている健康問題に興味・関心をもって参加すると理解が深まる。2時間程度授業前学習する。本授業の課題を適宜まとめとして課題提出する。2時間程度授業後学習する。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

提出されたレポート、課題レポートは、全体で共有する機会を持つ 2回程度オンデマンドで課題を行う。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019人間健康DP1	多様化する健康について科学的な視点から学び、生活の中で活用できる健康チェックなどの方法を修得できる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019人間健康DP2	健康が政治や文化によりまた多面的な価値観であることを学び、自ら意見を述べ、レポートなどに表現できる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			40%	60%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

1. 複数回の小テストを中心に知識の確認、根拠に沿った説明ができるか確認し評価する。2. 授業内に行う課題レポートを、400字程度で記述し、評価する。3. 参加ルールに従い誠実に参加できたか、質問への回答や教員への質問など参加姿勢を評価する。

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	日本成人予防協会「健康管理士」一般指導員テキスト1 *健康管理士希望者	
2	資料を適宜配布	
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	厚生統計協会編 国民衛生の動向	
2	上野昌江 公衆衛生看護学 中央法規	
3	野中浩一 現代公衆衛生 南山堂	
4	木村浩康一 学生のための健康管理学 南山堂	
5		